

北見赤十字病院 がんサロン ほほえみ

# ほほえみ通信 Vol 182

2025/3/26  
発行

## 第182回 ほほえみ 開催

3月19日(水)第182回 ほほえみを開催しました。今回は8名の方に参加して頂きました。参加に際しましては、感染予防対策のためマスクの着用と手指消毒のお願いをさせていただきますので、ご協力をお願い致します。

次回のほほえみは、4/16(水)14時から16時まで  
本館3階 特別会議室での開催となりますのでご参加下さい。  
【がんサロン事務局より】

### 『がんでも温泉を楽しめますように』

(がん体験記)

乳がんの切除をすると、多くのひとたちが「温泉に入れない」と口にします。今は“入浴着”というものがあって、傷を隠して温泉を楽しめるようになりました。

それでも10年ほど前まではなかなか理解してはもらえませんでした。理由は、『湯船にタオルを入れてはいけない』というマナーがあるから。“タオルを湯船に入れると不衛生”という理由と同じに扱われていたのです。

それを変えたのが乳がんを経験したひとたち。1軒1軒温泉を廻り、理解を求め、入浴着を着けて入浴ができる温泉が全国に増えていきました。

「1人で入れないのなら、みんなで入っちゃおう」と仲間を集めての入浴も各地でおこなわれています。

以前、こんなことも聞いたことがあります。「ストーマだから温泉に入れてくれなかった」と。人工肛門や人工膀胱だと不衛生だと思われたようです。

今は理解も進んでそのようなことはあまり聞かなくなりましたが、それでもまだ完全ではないのかもしれない。

がんでも温泉を楽しめる世の中になってほしいですね。

(北海道/女性/乳がん/がん患者本人)